

## 令和2年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

「学力伸長と進路実現」「心の教育の充実」を教育目標とし、教職員が生徒一人ひとりに寄り添い、丁寧な指導により生徒が学ぶ喜びを経験し、社会に貢献できる力をもった生徒を育てます。学び直しや昼間働くなど様々な条件の中で、「過去は変えられないが未来は変えられる」と強い意志を持ち、夜に学ぶ必要のある生徒を応援します。「三国丘の定時制の生徒なら大丈夫」と学校内外から評価・信頼される学校をめざします。

- 1) 学業と仕事を両立し、休まずに毎日の授業を大切にする生徒を育てます。
- 2) 地域に信頼され愛される学校の取組を通して、他者を思いやり、ルールを守って主体的に行動ができる生徒を育てます。
- 3) 丁寧な個別指導、キャリア教育を通して、社会に貢献できる生徒を育てます。

## 2 中期的目標

## 1 学力伸長と進路実現（本校キャリア教育の推進）

- (1) 学力の定着と伸長を図り、確実な進路実現を果たす。
  - ア 中学校段階以前の欠落部分を補完することが可能な教育課程を編制し、学習到達度の幅が広い教科では習熟度別授業を実施し、モジュールを組み入れ、進路選択時に必要とされる学力を獲得させる。
  - イ ICT 機器などを活用した授業を行い、公開授業や研究授業、授業アンケートを効果的に活用して、組織的な授業力向上にさらに取り組み、学力伸長を図る。  
※学校教育自己診断の生徒の授業満足度を毎年引き上げ、令和4年度までには80%をめざす(平成29年度76%、平成30年度74%、令和元年度65%)。
- (2) 卒業後の進路を生徒が各自で思い描けるよう、各年次段階に応じて適切な情報を提供・理解させる。
  - ア 進路指導計画に基づき、各年次に応じて年間数回の進路選択とキャリア能力の育成のためのホームルーム、及び進路説明会を実施する。
  - イ 年次に応じたキャリア教育を実施することで、進路意識の段階的醸成を図る。
- (3) 進路指導体制の強化により、進路実績の向上をめざす。
  - ア 卒業年次には、面談、面接・履歴書指導など生徒個々に合わせた指導体制により、確実な進路実現を図る。
  - イ 3年間または4年間を見通したキャリア教育を推進し、卒業後の進路決定に向けた意識を高める。  
※令和4年度も学校紹介等による就職と大学・短大等進学の実績(卒業生総数に対する割合)95%以上(平成29年度100%、平成30年度100%、令和元年度100%)をめざし、若年無業者5%未満を維持する(平成29年0%、平成30年度0%、令和元年度0%)。

## 2 心の教育の充実（モラル教育に重点を置いた教育体制の構築）

- (1) 「社会で正しく生きる」ために、他者を尊重する姿勢を身につけさせる。また、地域交流を通じて自己有用感を高める。
  - ア 「社会の一員」としての自覚醸成のため、生徒有志による地域との連携活動に積極的に取り組む。  
※令和元年度は地域清掃活動を年3回（夏季は雨天のため1回と冬季に2回）、地元保育園等との交流を年2回（夏季と冬季）実施した。令和4年度に向け継続する。
- (2) 他者も自分も人権を尊重されるべきかけがえのない存在であることを気づかせ、すべての命を大切にする教育を行なう。
  - ア 社会に生きる多様な人たちと出会う人権学習を行う。
  - イ 生徒並びに教員の健康・環境衛生の意識・関心を高める。  
※令和元年度は学年単位での人権HRを2回実施した。令和4年度に向け教職員人権研修を含め、より内容を充実して継続する。
- (3) スポーツ大会や文化祭など各種行事の参加により仲間との交流を深め、豊かな心を育む。
  - ア 総合学習「ふるさと堺探検隊」の高い参加率を定着させ、事業主、保護者の理解を得て、令和4年度でも80%以上の維持をめざす。(平成29年度79%、平成30年度89%、令和元年度74%)この行事の実施により、仲間と協同して堺の歴史と文化を学ぶとともに郷土愛を育む。
  - イ スポーツ大会、文化祭などの高い参加率を定着させ、令和4年度でも75%以上の維持をめざす。(平成29年度86%、平成30年度85%、令和元年度76%)これらの行事を通して仲間との交流、コミュニケーションの大切さを学び、豊かな心を育む。
- (4) 組織として心の問題に対処できるよう、教育相談体制や個に応じた支援体制の充実を図り、学校への定着と卒業を支援する。
  - ア 教育相談委員会の機能・機動性向上のためにも外部機関との連携を重視し、さらに外部人材の活用を図る。
  - イ 学校の課題解決に向け、教職員の専門性を高めるため、外部機関との連携を図り、教職員向け課題研修を充実させる。  
※平成31年度は教職員研修を12回実施した。今後も外部機関との連携を図り、令和4年度でも研修年8回以上の実施定着を図る。  
※最後まであきらめさせない指導により年度末の進級・卒業率(進級・卒業生徒数/年度末在籍数)を令和4年度に向けて90%以上を維持する。(平成29年度89.1%、平成30年度91.7%、令和元年度88.8%)

## 3 校務の効率化と働き方改革の推進

- (1) 学校行事を精選（見直し）し、生徒に有意義でかつ教職員にとって過度の負担をかけない学校行事を実施。
- (2) 「大阪府部活動の在り方に関する方針」・「府立学校における働き方改革に係る取り組みについて」などを踏まえ、生徒・教職員の健康管理体制を充実させる。

## 府立三国丘高等学校 定時制の課程

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【生徒アンケート】</b></p> <p>「授業はわかりやすい。」という項目や、「担任の先生以外にも気軽に自分が気になることについて話ができる先生がいる。」という項目では昨年度より肯定率が上昇している。授業改善の取り組みや教育相談体制の充実が成果が表れてきたと推察できる。</p> <p>「学校に行くのが楽しい。」という項目が大幅に低下している。その理由については、今年度は新型コロナウイルスの影響により4月と5月の2か月間の臨時休業があったことや、そのしわ寄せとして学校行事の中止や内容変更があったことが大きいと思われる。生徒側の要因としては心理面や発達面で様々な課題を抱える生徒が増えていることも要因として考えられる。また、「校外学習は楽しく行えるよう工夫されている。」という項目、及び「スポーツ大会は楽しく行えるよう工夫されている。」という項目については、昨年度「文化祭は楽しく行えるよう工夫されている。」及び「体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。」という質問項目であったものを、学校行事の変更に伴って質問内容を変更したために肯定率が低下した。文化祭については次年度以降は復活させる予定である。また、体育祭からスポーツ大会への変更は次年度も引き継ぐ予定であるが、スポーツ大会や校外学習の在り方についても今後検討を進めていきたい。</p> <p><b>【保護者アンケート】</b></p> <p>「子どもは授業がわかりやすいと言っている。」と答えた割合が昨年度より大幅に上昇したのは生徒アンケートと共通しており、授業改善の取り組みがこちらについても実を結びつつある結果ではないかと考えられる。また、新型コロナウイルスの影響により保護者が参加できる行事が減ったにもかかわらず、「学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」と回答した保護者の割合が増加したことも大変ありがたいことである。</p> <p>「先生は子どものことを理解している。」「子どもの学習内容に満足している。」「学校の生徒指導の方針に共感できる。」「学校は、教育情報について、提供の努力をしている。」「学校は、子どもに生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。」と答えた保護者の割合が昨年度より低下していることについては、教職員全体でアンケート結果を虚心坦懐に受け止めて、保護者の信頼を回復するため、日々の教育活動を更に見直していく必要があると考えられる。</p> <p><b>【教職員アンケート】</b></p> <p>学習指導については、「年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。」という項目が昨年度より1.2ポイントの微減ではあるが、過去8年間で最低となっている。次年度入学生から実施される新教育課程に向けて、カリキュラムマネジメントの視点から教科の垣根を超えた学習指導計画のさらなる見直しを図っていくことが必要であると考えられる。また、「本校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。」という項目が昨年度より10.5ポイント低下している。個別の学習支援の方法についての教職員研修の充実や、先進的に取り組んでいる他校の実践例などの情報収集の推進などの対策を行うことが必要である。これに対し、「校内公開授業等を積極的に推進し、教員相互の授業検討の機会を持ち、教材や指導方法など授業改善に取り組んでいる。」という項目や、「コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。」という項目については、昨年度に引き続き教職員の評価は高い。</p> <p>「教育相談体制が整備されており生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。」という項目についても肯定率が昨年度は100%に戻ったが、今年度は再び100%を切った。様々な課題を抱える生徒の割合が増加する中、学校として生徒一人ひとりの実態に即してできるだけきめ細かい個別対応を行ってきたが、限られた人的資源の中で、思った通りの対応ができていないということを反映しているものと考えられる。このような課題を解決するために、人的資源を増やすための働きかけを推進していくことが必要である。一方、「本校では、カウンセリングマインドに基づいた生徒指導を行っている。」という項目や、「教育活動において、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会を作るように配慮している。」という項目、「生徒の障がいや実態の多様化に対応した適切な教育活動をおこなっている。」という項目については、今年度は肯定率100%に上昇しており、「いじめが起こった際の対応が整っており迅速に対応できる。」という項目についても、昨年度より肯定率が上昇している。</p> <p>教職員の組織については、「学校（教員）は組織として『報告・連絡・相談』が徹底されている。」という項目と、「教員間の相互信頼があり意見を率直に言える環境、雰囲気である。」という項目について、昨年度は大幅に低下したが、今年度は大幅に上昇している。また、「学校運営に教職員の意見が反映されている。」という項目や、「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」という項目についても、昨年度より上昇しており、改善傾向が見られる。</p> <p><b>【全体を通して】</b></p> <p>生徒アンケートについては、上述した通り、「学校に行くのが楽しい。」という項目が例年になく低い評価となっており、とりわけ1年次と3年次で低くなっていることが大きな課題である。1年次については、入学してからの期間が短いことから、教員や生徒同士の人間関係がスムーズに構築できるように、生徒への声かけをより積極的に行うとともに、教育相談体制をより一層充実させるなどの対策が必要である。また、生徒が学校生活を楽しいものと思えるように、感染症予防を徹底しつつ学校行事をより充実したものにしていくという、両立することが難しい課題に取り組むとともに、授業改善にもより一層取り組む必要がある。</p> <p>保護者アンケートについては、上述した通りいくつかの質問項目については昨年度に比べて向上していたが、昨年度に比べて厳しい評価を頂いた項目が多かった。評価結果から浮かび上がった課題やアンケートに記載していただいた様々な提言内容を踏まえて、次年度以降の学校経営の改善に努めていきたい。</p> <p>教職員アンケートについては、学習指導に関する項目と教育相談体制に関する項目以外はおおむね改善傾向にある。特に教職員間の信頼関係や連絡体制に関する項目は大幅に改善している。今後、学習指導の体制の組織化に向けた様々な取り組みを進めることにより、教職員の組織力のさらなる向上に取り組んでいきたい。</p>	<p>第1回（郵送による意見聴取）</p> <p><b>【教育活動全般について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍対策で大変なご尽力かとお察し申し上げます。常に個々の生徒にとっての学力、社会性に関する力をつけるべくご尽力なさっておられると感服しております。</li> <li>・今年度は新型コロナウイルスの影響により、生徒さんやそのご家族の生活にも様々な影響が出ているものと推察しております。先生方におかれましても、様々な行事の開催方法等の配慮についてもご多忙のことと思います。学校があることで安定する生徒さんもうらっしゃると思いますので、日常を支える大きな存在として、先生方のお力に何らかの役に立てればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</li> </ul> <p><b>【学校経営計画について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のコロナ禍並びに豪雨災害を鑑みて、学校経営計画及び学校評価の「1. めざす学校像」の「2）地域に信頼され愛される学校の取組を通して、他者を思いやり、ルールを守って主体的に行動ができる生徒を育てます。」とあるような生徒に育つよう、「2. 中期目標」の「2（1）『社会で正しく生きる』ため」のモラルを身につけ、社会の中で共に生きることの大切さを学ぶ機会がもう少し増えればと思います。また、新型コロナウイルスにつき大変なことは存じますが、生徒のみならず、教職員のみならずも十分お気をつけください。</li> </ul> <p><b>【令和2年度年間行事予定について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありませんが、文化祭がなくなったことが残念です。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症のため、前期中間調査がなくなりました。そこで前期は考査も1回だけだし、授業を十分に受けられていない状況だと思うので、生徒が不利にならないように、何か対策を立ててあげてください。（例えば、前期・後期の成績の比重を、1：1ではなく、前期を少し軽くする、など。）</li> <li>・遠足の代わりに「校外探究学習」が9月25日に入っています。「ふるさと堺」とは別ようですが、何をやるのでしょうか？せっかく校外へ出るのですから、ぜひ生徒たちの興味をひくプログラムを考えてあげてください。</li> </ul> <p><b>【進路指導について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の進路決定状況より、学校は本当によくがんばっていると思います。今年は新型コロナウイルスの影響で、報道では(前年の大卒ですが)内定取り消しなどきびしいことを見聞しましたが、今年度はどうなるのでしょうか？就職の状況はきびしいかもしれませんが、ぜひ生徒の不利にならないように手立てを講じてあげてください。</li> </ul> <p><b>【学校広報活動について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校訪問を郵送にされたのは、この時期正解だと思います。その際にも、以下の4点を別紙で送付するなどしてぜひ強調してください。①～④は三国丘高校定時制の本当にすばらしいところなので。       <ol style="list-style-type: none"> <li>①幅広い年齢層の生徒たちが分け隔てなく打ち解けて過ごしていること</li> <li>②不登校経験のある生徒が多数入学し、学校生活を再開できていること</li> <li>③一度他校に入学後、転入や編入により本校で卒業をめざす生徒が多いこと</li> <li>④制服や指定の体操服がなく、入学時の経済的負担が少ないこと</li> </ol> </li> </ul> <p>第2回（郵送による意見聴取）</p> <p><b>【前期授業アンケート結果について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に比して、学校平均諸数値がかなり上がっているのは、先生方のご尽力が生徒に浸透してきたためかと思えます。特に4年生が高数値であることは、この学年の特性の有無はさておき、在籍年数が長いほど、本校の教育姿勢や教員との関係性の深まりを実感できているのではないかと推察します。</li> <li>・昨年平均よりどの項目についても、高い点数になっていることが印象的でした。特に、1年生が高い水準にあるのが、コロナ禍にあっても、先生方が学校定着に向けて丁寧にご指導されている結果ではないかと考えました。</li> <li>・昨年学校平均と比較し今年度学校平均は上昇しているが、第3学年のみ学校平均以下の結果なのなぜなのか？また第4学年で高ポイントの理由は？</li> <li>・2年生、3年生の中間の学年の授業に対する姿勢が落ちていると思います。1人でも多くの生徒が卒業できるように、生徒同士のコミュニケーションが取れるような授業を、学校生活が送れるようになってほしいと思います。</li> <li>・まずいつもと異なると感じたのは、3年生の授業評価が低いことです。例年なら4年生と3年生の評価が高いのに、今年は3年生が最低です。この原因は何だと分析されていますか？ともあれ、全体としては昨年より学校平均が上がっていることで、先生方の努力が実を結びつつあるのだと認識しています。</li> <li>・今年はコロナ禍で各府立学校で大変でした。定時制でもオンライン授業をされたことと推察いたします。その際インターネット環境の整わない生徒には、どうされたのでしょうか？タブレットとか何か貸し出されたりしたのでしょうか？今後も必要になってくる取組だと思われます。</li> </ul> <p><b>【教育活動全般について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒への細やかな指導に加え、今年度は新型コロナウイルス感染防止対応でさぞや大変なこととお察しいたします。どうぞくれぐれもご自愛ください。</li> <li>・コロナ禍の中、学校行事の中止や変更など、大変な事が多いと思います。その中でも少数でありながら、部活動ですばらしい成果をあげている事をうれしく思いました。卒業後の進路も思っていた以上に決まっていって、来年度の実験者が増えてくれる事につながれば良いと思います。</li> </ul> <p><b>【令和2年度 学校行事について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年はコロナ禍のため行事を縮小して実施されたのは良かったと思います。スポーツ大会と、芸術鑑賞会にされたのですね。特に例年の形の文化祭は感染防止の点からは、難しい面があると思いますので、変更されてよかったと思います。</li> <li>・コロナ禍にあつて授業スケジュールも大変な中、その他行事にも取り組まれていることに教職員のみならず敬意を表します。修学旅行につきましても訪問先は変更となる模様ですが実施されるとのこと、生徒のみならずのよき思い出作りが出来る事を願います。</li> <li>・修学旅行も日程と行き先を変更されたのですね。今また第3波が来ていますが、1月に無事に実施されることを祈っております。</li> <li>・修学旅行について1月に実施されるとのこと。すばらしい英断だと思います。他方、予防対策についてはくれぐれもご留意ください。</li> </ul> <p><b>【前期特別指導について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご多忙の中、せっかく特別指導の時間を設けておられるのに、特に1・2年の参加者が少ないことは、とてももったいないと思います。特別指導を受けることは「いやな学習をさせられるのではなく、「自尊心が上がる体験になる」ということを何とか分かってくれたらよいの」と思っています。</li> </ul> <p><b>【授業中の携帯電話等の指導について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話等の指導マニュアルを導入されたことで、「イエローカード」の発行方法が明確になったのかと推察しました。生徒指導がすべてマニュアル化されることはないかと思いますが、教員間で指導の考え方や方法を整えていくことは重要であると考えます。</li> </ul> <p><b>【部活動実績並びに諸行事について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方は大変お忙しい中、協議会や研究会活動を盛んにするべく尽力なさっておられることは、生徒の自尊心の高まりに繋がっていると思います。また、部活動加入率については、授業アンケートで高得点であった4年生が高くなっていますが、学年が上がることにより本校の生活の充実感が増しているかと思えます。そして、自己を成長させるために、先生方が提供しておられる内容を使う力が強くなるのかとも思いました。</li> </ul> <p><b>【健康診断受検率について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より4.0ポイントも上がったこと、先生方のご尽力故のことと思います。</li> </ul> <p><b>【進路指導について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路状況を見て、このコロナ禍で進路希望を実現するのが難しいなか、よく頑張っておられると感じました。11月2日のデータですので、まだこれからの生徒さんもおられるでしょうから、全員が希望の進路に進められますように願っております。</li> <li>・当法人では職業に就くための就労移行支援も行っておりますが、コロナの影響もあり、厳しい状況があると痛感しております。堺市において地域若者サポートステーションも運営しておりますので、また必要があれば、お声かけ頂ければ幸いです。</li> </ul> <p><b>【学校広報活動について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の貴校の入学についてご相談を受けている方が数名おられます。またご相談さしあげることもあるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</li> </ul> <p><b>【生徒支援体制について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ですが、今年も帝塚山学院大学の学生さんが、生徒の心のケアのお手伝いに来られているのでしょうか？ステイホームのなか、学校に来にくい生徒さんがますます来にくくなっているのでは、と心配です。</li> </ul> <p>第3回（郵送による意見聴取）</p> <p>(1)議決事項 「令和2年度 学校評価」、及び「令和3年度 学校経営計画」については、全委員の賛成により承認された。</p> <p>(2)意見聴取内容 <b>【学校教育自己診断結果について】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ①生徒アンケート結果について       <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の回答で、「学校に行くのが楽しい。」「スポーツ大会は楽しくおこなえるように工夫されている。」「命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある。」の数値低下は、コロナ禍によるストレスや不満が影響していると考えられる。次年度以降は楽しめる行事が増えるよう工夫してほしい。</li> <li>・3年生がすべてに低い数値となっている要因と対策についての検討が必要である。</li> </ul> </li> <li>② 保護者アンケート結果について       <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケートのみならず保護者アンケートの結果からも、「授業がわかりやすい。」の項目が上昇している</li> </ul> </li> </ol>

府立三国丘高等学校 定時制の課程

	<p>ことは、教職員の努力の成果が表れている。評価が低くなっている項目は、生徒結果と同様コロナ禍が相当影響していると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の回答で、「学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。」で高い評価の反面、「学校は、子どもに生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。」では低い評価である理由を検討する必要がある。</li> </ul> <p>① 教職員アンケート結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由回答にあるように、特定の人が頑張るのではなく、教職員の皆さまが共に信頼し、チームで動いていけるように、管理職の先生をはじめとした、学校の風土づくりを期待する。</li> <li>・「本校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。」の割合が低下していることは課題であり、次年度以降に校内体制を更に強化することを望む。</li> </ul> <p>② 全体を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度は文化祭を復活させるとのことだが、生徒それぞれが主体的に取り組み、役割を發揮できるような機会があるとよいと思う。</li> </ul> <p>【後期授業アンケート結果について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学年、第3学年において、後期の方がポイント上昇している様に見えることから、前期はコロナで授業に制限がかかったのが、後期は緊急事態宣言下においても授業を行えたことが関係しているのか。やはり、生徒にとって学校という居場所が大切だと思われる。</li> <li>・前期から後期という半年での変化がもちろん、例えば、現在1年生の生徒が、来年、あるいは再来年にどのように変化していくのかということも、関心がある。</li> </ul> <p>【学校行事について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は行事が中止、変更となるものが多く、残念であった。次年度以降、「学校に来るのが楽しくなる」行事を実施されることを期待している。</li> <li>・中止された修学旅行の代替として実施した行事は、もう少し楽しい思い出につながるものにしてほしかった。</li> <li>・「ふるさと塚探検隊」の参加率が昨年度よりも大幅に増えたのは、大変良かった。</li> <li>・種々の講習会が行われており、それらすべてにおいて生徒の回答が高評価なのは大変良かった。ひとつひとつのテーマが重要なものなので、今後も継続していただきたい。</li> <li>・生徒の部活動や校外発表等の活動実績も素晴らしいと思う。</li> </ul> <p>【教務部特別指導について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別指導の受験者が後期に増えているのは教職員の指導の結果、生徒の意欲が高まったためと思われる。特別指導の範囲を超える前の対応として、スクールソーシャルワーカー等、専門家や外部支援と連携していく可能性を検討してほしい。</li> </ul> <p>【生徒健康診断について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断の受検率が上昇しているのは、教職員の努力の成果だと思う。</li> </ul> <p>【進路指導について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での就職支援はさぞ苦勞が多かったのではと推察するが、今年もこの難しい状況の中、若年無業者0%を達成できたのは、素晴らしい。今後とも、ぜひ続けてほしい。</li> </ul>
--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 学力伸長と進路実現（本校のキャリア教育の確立）</p>	<p>(1) 学力の定着と伸長 ア 研究授業、授業アンケートの効果的活用</p> <p>イ 学ぶ意欲を引き出す</p> <p>ウ わかりやすく楽しい授業をめざして</p> <p>エ 基礎学力の定着・向上</p> <p>(2) 年次段階に応じた適切な進路指導と情報の提供・理解 ア 組織的な進路指導体制</p> <p>イ キャリア教育の推進</p> <p>(3) 進路実績の向上 ア 広報活動</p> <p>イ 応募前職場見学の実施</p> <p>ウ 個別指導体制</p> <p>エ 卒業予定者の若年無業者の減少</p>	<p>(1) ア・授業力向上を図るため、各教科での授業アンケートを活用し、教員間の相互授業見学、研究授業・研究協議を実施する。</p> <p>イ・多岐にわたる総合講座等を実施し、自己肯定感を高め、学ぶ意欲を引き出す。</p> <p>ウ・わかりやすく楽しい授業をめざし、ICT機器等の活用を図り、実技、実習・実験を工夫する。</p> <p>エ・英語・数学での習熟度授業で生徒の基礎学力定着、向上を図る。</p> <p>(2) ア・進路部中心に進路指導体制の全体計画を立案し、進路・担任の合同会議で適宜調整する。</p> <p>イ・多様な生徒のニーズに応えるべく、進路説明会を「概要説明」→「進路決定に必要な準備」→「志望校の決定や求人票の見方」と段階的・体系的に実施する。</p> <p>・進路意識の段階的醸成をめざしたキャリア教育を実施する。</p> <p>(3) ア・積極的な広報活動により、三国丘高等学校定時制の存在をアピールする</p> <p>イ・学校紹介による就職希望者全員に応募前職場見学を実施させる。</p> <p>ウ・進路面談、面接・履歴書指導を行い、生徒個々に合わせた指導体制を作り進路実績の向上をめざす。</p> <p>エ・ハローワークと連携し、卒業後の若年無業者を減少させる。</p>	<p>(1) ア・年2回以上研究授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートを年2回実施し、後期の評価の平均を前期より向上させる。</li> <li>・授業力向上を行うための研修を実施。</li> </ul> <p>イ・図書室の有効活用。年度末のアンケートで肯定的評価70%をめざす(令和元年度は感染症対策で実施できず)。</p> <p>ウ・生徒の自己診断「授業はわかりやすい」の肯定率70%(令和元年度65%)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己診断「教え方に工夫をしている先生が多い」の肯定率75%(令和元年度69%)。</li> </ul> <p>エ・基礎学力診断テスト(1年国・数・英)の4月から2月での伸長度30%増とする。</p> <p>(2) ア・進路・担任合同会議を定期的(年5回以上)に開催。</p> <p>イ・1・2年次生への進路説明会を年2回、卒業学年への進路説明会を年3回実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に応じたキャリア教育を年3回実施。</li> </ul> <p>(3) ア・卒業生の進路先などを更新し、毎年新たな広報用資料を制作。新たな企業開拓、学校説明に活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校webページを適宜更新し、緊急時にはLINE@を活用し適切に情報提供に努める。また准校長ブログを月2回以上更新する。</li> </ul> <p>イ・就職希望者全員に応募前職場見学を実施。</p> <p>ウ・就職・進学希望者全員への面談を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書講座の実施。</li> </ul> <p>エ・若年無業者(進学・就職等を希望しない生徒を除く)の割合5%未満を維持(令和元年度0%)。</p>	<p>(1) ア・初任者が2回ずつ、2年目教員が年1回ずつ研究授業を実施。(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートを7月と12月に実施した。学校平均は前期3.30後期3.34(昨年前期3.11後期3.25)。(◎)</li> <li>・授業力向上のため、理科の観察・実験を通して主体的・対話的で深い学びについての模擬授業形式の研修を1/6に教頭が実施。(◎)</li> </ul> <p>イ・図書室の活用については、体育理論の授業で調べもの学習等を、総合学習で読書活動等を行った。(○)アンケートでの肯定的評価は100%。(◎)</p> <p>ウ・「授業はわかりやすい」70.1%。(昨年度比5.2uP)。(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教え方に工夫をしている先生が多い」72.6%(昨年度比3.5uP)。(△)</li> </ul> <p>エ・基礎学力診断テスト(1年国・数・英)の6月から2月までの伸長度は国語4.6%、数学未実施、英語71.7%増となり、一定の向上が見られた。(○)</p> <p>(2) ア・進路・担任合同会議を6回行った。生徒の情報共有ができた。(◎)</p> <p>イ・1・2年次生には2回(9月・2月実施予定)。卒業学年には3回(6月に2回・7月に1回)実施。各説明会が生徒にとって進路選択をするためのいい機会となった。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目は6月に実施(1年次生:一般職業適性検査、2年次生:進路指導の概要、3・4年次生:求人票の見方・就職におけるルール)。2回目は12月に実施(1・2年次生:専門学校による出前授業、3・4年次生:弁護士講話:労働条件について)。3回目1月に実施(1年次生:卒業生講話、2年次生:マネー講座、3・4年次生:社会人になるにあたって)。各学年の課題に応じた内容の取組みができた。(○)</li> </ul> <p>(3) ア・学校説明用リーフレットについて時点変更を行った。学校パンフレット及びリーフレットを中学校75校に送付。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校webページを学校行事の実施後に適時更新した。(○)LINE@を使った情報提供を14回実施済。(○)准校長ブログを4月から3月3日までで68回更新。(◎)</li> </ul> <p>イ・就職希望者全員に応募前職場見学に参加した(11名の生徒が延べ20社に見学)。複数社に見学することを条件とすることで進路決定がスムーズにできた。(○)</p> <p>ウ・就職・進学希望者全員への面談を実施。個々の事情に応じた相談や指導ができた。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に実施。生徒の意欲向上に効果があった。(○)</li> </ul> <p>エ・若年無業者は0%。(◎)</p>

## 府立三国丘高等学校 定時制の課程

<p>2</p> <p>心の教育の充実 (モラル教育に重点を置いた教育体制の構築)</p>	<p>(1) 他者を尊重する姿勢の育成 ア ボランティア活動の実施</p> <p>イ 地域交流の推進</p> <p>(2) 人命尊重の教育の推進 ア 多様性を学ぶ人権学習を実施</p> <p>イ 健康への関心を高められる健康診断受検率の維持</p> <p>ウ 健康・安全への関心を高める</p> <p>エ 美化意識を高める</p> <p>オ 環境への関心を高める</p> <p>(3) 各種行事の参加により自尊感情を高める ア 郷土愛を育む</p> <p>イ 仲間との交流を通し豊かな心を育む</p> <p>(4) 教育相談の充実と学校への定着、進級・卒業の支援 ア 三国丘(定)の存在を地域にアピール</p> <p>イ 支援を必要とする生徒の情報共有</p> <p>ウ 外部機関との連携強化</p> <p>エ 日本語支援の必要な生徒の困り感を解消</p> <p>オ 相談機関との連携</p> <p>カ 学校課題解決に向けて</p> <p>キ 相談しやすい環境づくり</p> <p>ク 進級・卒業率向上をめざして</p>	<p>(1) 自己肯定感を高める目的で、生徒会を中心に下記を実施 ア・地域との連携を踏まえ、地域清掃ボランティア活動を行う。</p> <p>イ・地元保育園との交流活動を計画・実施する。</p> <p>(2) ア・社会に生きる様々な人たちと出会い深く考える研修や人権学習を企画する。</p> <p>イ・生徒の健康への関心を高め、疾病の早期発見・早期治療を目指すため、健康診断受検率を維持する。 ウ・生徒の健康・安全への関心を高めるため、生徒向け各種研修を実施する。</p> <p>エ・清掃活動を通して、生徒の美化意識を高める。</p> <p>オ・生徒の環境への関心を高めるため、生徒保健委員会を開催する。</p> <p>(3) ア・総合学習「ふるさと堀探検隊」を通じて郷土愛を育み、地域を知る。</p> <p>イ・スポーツ大会、文化祭などの行事を活用し仲間との交流を通して、コミュニケーションの大切さを学び、豊かな心を育む。</p> <p>(4) ア・多様な支援を必要とする生徒に三国丘(定)の存在を地域にアピールすべく広報を行う。</p> <p>イ・支援を必要とする生徒の情報を共有し情報交換を行うため、SCやSSWを活用し、教育相談委員会を定例で開催する。</p> <p>ウ・帝塚山学院大学大学院と連携し、ハートケアサポーター機能を高める。</p> <p>エ・日本語支援の必要な生徒の困り感を低減する。</p> <p>オ・外部の相談機関等との連携を継続強化する。</p> <p>カ・本校が直面する学校課題解決に向け、教職員向け研修を実施する。</p> <p>キ・担任、SC、SSW、教育相談委員会の連携システムを強化確立し、生徒が相談しやすい環境づくりを行なう。</p> <p>ク・最後まであきらめさせない個々の生徒への指導・支援により、学校への定着を図り、進級・卒業を支援する。</p>	<p>(1) ア・地域清掃ボランティアの生徒参加者1日10名をめざし、年2回(夏季と冬季)実施(令和元年度 平均11名/日参加)。</p> <p>イ・地元の保育園との交流の生徒参加者1回7名をめざし、年2回実施。</p> <p>(2) ア・人権教育推進委員会が中心となって教員向け2回、生徒向け2回実施。</p> <p>・SNS等情報モラルについて年1回実施。</p> <p>イ・健康診断の受検率85%以上をめざす(令和元年度89%)。</p> <p>ウ・薬物乱用防止、交通安全講習等必要なテーマで研修を計画的に行う。生徒アンケートの肯定評価を80%以上めざす(令和元年度薬物91%、交通安全講87%)。</p> <p>エ・全生徒による大掃除を年間2回実施。</p> <p>オ・生徒保健委員会を年間4回実施。</p> <p>(3) ア・ふるさと堀探検隊における生徒の行事参加率の75%以上の維持をめざす(令和元年度74%)。</p> <p>イ・スポーツ大会及び文化祭における生徒の行事参加率の75%以上の維持をめざす(令和元年度体育祭77%、文化祭75%)。 ・生徒の自己診断「スポーツ大会は楽しく行えるよう工夫されている」の肯定率80%以上をめざす(令和元年度73%)。「文化祭は楽しく行えるよう工夫されている」の肯定率80%以上をめざす(令和元年度76%)。</p> <p>(4) ア・堺市内を中心に中学校訪問を行ない、本校の良さをアピールする。</p> <p>イ・教育相談委員会を月1回以上開催。職員会議等で月1回情報共有を行う。</p> <p>ウ・公認心理師候補の大学院生が教育相談のサポーターとして年40回(令和元年度118回)来校し生徒支援にあたる。</p> <p>エ・日本語支援の教育活動をすすめ、当該生徒の進級・卒業をめざす。</p> <p>オ・SSW等のアドバイスを参考に、外部機関との連携を必要に応じ実施。</p> <p>カ・教職員向け研修を年10回(フレッシュマン研修含む)開催する。</p> <p>キ・生徒の自己診断「担任の先生以外にも気軽に相談できる先生がいる」の肯定率70%以上(令和元年度66%)をめざす。</p> <p>ク・年度末の進級・卒業率(進級生徒数/年度末在籍数)90%以上を維持する(令和元年度89%)。</p>	<p>(1) ア・地域清掃ボランティア(夏季)は1日目38名、2日目28名が参加。(冬季)は1日目16名、2日目10名が参加。 (◎)</p> <p>イ・地元保育園との交流会は新型コロナウイルス感染症のために今年度は実施できず。代替として生徒18名でクリスマス飾りを作成して園児に贈呈した。(一)</p> <p>(2) ア・教員向け2回、生徒向け2回実施。(◎) 【生徒向け】 9/23各年次単位により実施。 1/26各年次単位により実施。 【教員向け】 6/24「発達障がいへの支援とは？まず、理解から」 10/29「袖松人研歴史館」見学 ・(人権・生指) SNSに係る講習は6/12に全学年対象に実施済。(○) イ・健康診断の受検率89.1%。(◎)</p> <p>ウ・薬物乱用防止教室は1/20に実施し、アンケートの肯定的回答は88.6%。 (◎)。交通安全講習については7/1に実施し、アンケートの肯定回答は95.9%。(◎) エ・大掃除はコロナ禍のため11/10に1回だけ実施。(一)</p> <p>オ・生徒保健委員会はコロナ禍のため10/13、2/5の2回の実施にとどまったが、その実施した2回で当初想定していた目標を完遂することができた(○)。</p> <p>(3) ア・ふるさと堀探検隊は11/7に実施。参加生徒数は96名、参加率は75%(令和元年度は82名73%)、当日欠席者への指導は12/7～10に実施済。対象者20名中18名参加。参加率90.0%(令和元年度は18名75%)。(◎) イ・スポーツ大会参加率82%(◎)、文化祭は新型コロナウイルス感染症予防のため実施せず。(一) ・「スポーツ大会は楽しく行えるよう工夫されている」64.1%(△)、「文化祭は楽しく行えるよう工夫されている」は文化祭中止のため調査せず。(一)</p> <p>(4) ア・今年度は新型コロナウイルス感染症のため訪問した中学校1校のみにとどまったが、堺市内並びに隣接する75校の中学校に資料送付を行った。(○)。 イ・月に1回教育相談委員会を行った後、次の職員会議で情報共有を行っている。(○) ウ・今年度は5名のサポーターが週1回、延べ110回来校。(◎) エ・外国語を母語とする生徒に対し、国語と社会で抽出授業。各教科で丁寧な指導を実施。(○) オ・今年度は、SSW等のアドバイスに従って、フードバンクを活用した経済的に厳しい生徒への食糧支援を実施。(○) カ・全体研修を14回、フレッシュマン研修を2回実施。(◎) キ・担任の先生以外にも気軽に相談できる先生がいる」75.2%。(◎) ク・年度末時点での進級・卒業率90%。(○)</p>
<p>3</p> <p>校務の効率化と働き方改革の推進</p>	<p>(1) 学校行事を精選。</p> <p>(2) 働き方改革の実行と推進</p> <p>(3) 報告・連絡・相談体制の徹底と教員間の相互信頼関係の構築</p>	<p>(1) 生徒にとって有意義な行事の実施と教職員の負担軽減を図る。</p> <p>(2) 教職員の心と健康を守るため、長時間勤務の是正を図る</p> <p>(3) 教員間が互いに信頼しあえる学校の風土づくりに努める。</p>	<p>(1) 昨年度まで実施していた新入生歓迎会と体育祭を一つにまとめ「スポーツ大会」として実施。</p> <p>(2) 定時退庁日については、教職員ごとに週に2日以上設け、ノークラブデーについても、クラブごとに週に2日以上設定する。</p> <p>(3) 学校教育自己診断の「組織として『報告・連絡・相談』が徹底されている」という項目については、80%以上(令和元年度76.2%)。「意見を率直に言える雰囲気である」という項目については70%以上(令和元年度66.7%)。</p>	<p>(1) 昨年度まで実施していた新入生歓迎会と体育祭を一つにまとめ「スポーツ大会」として10/21に実施。(◎)</p> <p>(2) 全職員について、平日に1時間を超える残業を行っている者はほとんどいない。(◎) クラブにおいて、すべての部活動において週2回以上活動しない日が設けられている。(○)</p> <p>(3) 「組織として『報告・連絡・相談』が徹底されている」90.0%(◎)、「意見を率直に言える雰囲気である」85.0%(◎)。</p>